

<質疑応答>

【1日目第1回(午前10時～)】福井県回答

(質問1)

異動の頻度はどれくらいですか？

(回答1)

入庁後10年くらいは、幅広い職場を経験できるよう原則3年程度で異動しますが、その後は、習熟度を高めながら業務に当たれるよう、原則4～5年程度のサイクルで異動することが多いです。

(質問2)

今の県庁に足りないと思う部分はどこでしょうか？

(回答2)

足りない部分ではないですが、本県では、職員の行動指針となる「クレド」に基づき判断・行動できる人材を求めており、職員は「徹底現場主義」で仕事を進めています。

(質問3)

6県庁合同、または中部地方全体で行っていく政策・未来像はありますか？

(回答3)

様々な分野において、近隣県で情報交換や連携を取りながら施策を進めています。福井県の政策については、令和4年度主要政策「未来をつくる実践目標 チャレンジ2022」をご覧ください。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html>

(質問4)

部署が変わると、居住地も変えることになるのでしょうか？

(回答4)

異動により勤務地が変わっても自宅から通える場合は、居住地を変える必要はありません。自宅から通えない職員は、職員住宅を利用したり、賃貸住宅に居住（※）したりしています。

※要件により住居手当の支給あり

(質問5)

部署異動は、希望を出せますか？

(回答5)

年に1回、異動希望などを申告する機会があります。また、特定分野において庁内の公募制度があり、この制度を利用して希望する所属に異動している職員もいます。

異動は様々な事情により、希望どおりに配属されるとは限りませんが、希望どおりでなかったとしても、新たな職場で経験を積むことができ、職務能力の向上につながるものと考えています。

(質問6)

県の大きな方針や施策等ほどの程度職員の方が決定しているのでしょうか。また、県の方針等は県知事によってどの程度左右されるのでしょうか。

(回答6)

事案に応じて、職員は必要な合意形成を図るなど調整を行い、方針や施策を決定しています。どのような施策においても、職員として様々な提案、調整を行い業務を進めます。

(質問7)

配属される課はいくつ位あるのでしょうか。

(回答7)

福井県の本庁における課数（令和4年度の知事部局と教育庁の合計）は73課です。そのほか出先機関もあります。詳しくは、福井県機構図をご覧ください。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/jinji/01-6kikouzu.html>

(質問8)

国家公務員ではなく、地方公務員を選ばれた理由に、地元で貢献したい以外の理由があれば教えてください。

(回答8)

国家公務員は、全国的な視野に立ち、採用された省庁の所管分野で仕事をしていくこととなりますが、地方公務員の場合は、地方の実情に応じた行政サービスを提供していくこととなります。地方公務員の行政職は、様々な分野に配属され、経験を積みながら自分の職務能力を伸ばすことができる場所に魅力があります。

(質問9)

国と市の間での県としての役割・強みなどがあれば教えてください。

(回答9)

市町は、住民に身近な公共団体として各種行政サービスを提供するなど、住民に密着した仕事を行っていますが、県は、市町を包括する地方公共団体として、市町のとりまとめや、市町の区域を超える広域的な仕事、国や市町、関係団体との連絡調整といった仕事を行っています。

(質問10)

知らない分野や新しい仕事に直面した時はどのように適応されましたか？

(回答10)

異動により新たな仕事に携わる際には、前任者から仕事の引継ぎを受け、いつ何をすればよいか分かるようになっていきます。分からないことがあっても、前任者に確認したり、他県の事例を参考にすることで仕事を進めています。周囲のフォローもありますので、経験を積み自信をもって仕事を進めることができるようになっていきます。

（質問11）
県庁でしかできない仕事はありますか。

（回答11）
市町の区域を超える広域的な仕事や、国や市町、関係団体との連絡調整といった仕事は県ならではのようです。

（質問12）
このような資格、実績を持っていると採用に有利になるものなどありますか？

（回答12）
I種試験において資格要件を設けている職種もありますが、それ以外は必要な資格はありません。
なお、I種試験では外国語資格加点制度を設けています（令和4年度現在）。試験案内を確認してください。
<http://info.pref.fukui.jp/jinji-i/>

（質問13）
もし県庁と市役所で迷って県庁を選ばれた方がいらっしゃいましたら、県庁を選ばれた決め手をお伺いしたいです。

（回答13）
県の仕事は、県全体で広域的に対応すべき規模の大きい課題に対し、国や市町、関係団体と連携を取りながら、企画立案から実行までのプロジェクトにかかわって結果を出すという醍醐味があります。

（質問14）
市の職員と県職員では、住民の皆様とのかかわり方は違うところがありますか。

（回答14）
窓口対応としては、市町は住民に身近な内容が多く、県は市町の区域を超える広域的な内容や高度専門的な内容となることが多いです。

【1日目第2回(午後1時～)】富山県回答

（質問15）
新しい配属先で、仕事に慣れるまでどのくらい時間がかかりましたか。

（回答15）
異動が多いことを不安に思う方がいるかもしれませんが、日々の業務の積み重ねで仕事に慣れていきます。異動の際には、前任者から引継ぎがあります。異動したばかりのときは、分からないことも多いですが、周りの人に確認するなどして、業務を確実にこなせるようにしています。

（質問16）
様々なお仕事を経験されていると思いますが、最近、関心を持たれていることはありますか。

（回答16）
最近、「ウェルビーイング」に関心があります。詳しくは質問19をご覧ください。

（質問17）
様々な仕事を経験されていると思いますが、定年まで働いたとすると何個の部署を経験できますか。

（回答17）
異動は数年単位であります。大卒で入庁したと仮定すると10～20回もの異動を経験することになります。一度経験した部署に再び戻ってくることもあるため、経験できる部署の数は人によって異なります。

（質問18）
現在民間企業で営業をしておりますが、活躍できる部はありますか。また女性の中途採用について教えていただけると嬉しいです。

（回答18）
富山県では、大卒程度の上級試験であれば35歳まで、県外勤務であれば40歳まで職務経験者（UIJターン）試験を受験できます。いずれも試験区分は「行政」関係になり、採用されれば幅広い分野で活躍できます。また、採用にあたって性別の要件はありませんので、女性の中途採用の事例も多くあります。

（質問19）
最近コロナが流行していますが、コロナ対策以外に特に力を入れている事業等ありますか。

（回答19）
富山県は、若者の流出・少子高齢化による経済収縮などの社会変化に対応するため、県民が生き生きと暮らし、多様な人材が集積し、ともに発展していくことをめざした「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山」を掲げています。「ウェルビーイング」とは、経済的な豊かさだけでなく、身体的・精神的・社会的にも満たされた状態を表す言葉です。富山県内に限らず、かかわる人全ての関係人口を増やすため、今年度「ウェルビーイング推進課」を新たに設置し、各部局と連携しながらウェルビーイングの普及のための事業を進めています。

（質問20）

市町との連携について、できれば例を挙げて具体的に教えてください。

（回答20）

富山県では、県全体の発展を実現するため「ワンチームとやま」連携推進本部を設置し、各市町村の課題を共有し、行政活動を支援しています。例えば令和4年度は「ゼロカーボンシティ富山の実現」「自治体行政のデジタル化」「農林水産物等の輸出促進に向けた連携・強化」を市町村と連携して行っています。これら以外にも、県民のために、県の各部局は防災や福祉など幅広い業務において、市町村と連携しています。

（質問21）

県職員としての地元以外の就職についてお伺いしたいです。地元以外での就職された方の事例や、ポイント等について教えていただけますと幸いです。

（回答21）

採用にあたって出身地の要件はありませんので、県外出身者も多くいます。

（質問22）

近年、官民の連携が進んでいると思うのですが、それぞれの県ごとに特に力を入れている分野や業界はあるのでしょうか。あれば、具体的な事業事例等も併せて教えていただければ幸いです。

（回答22）

富山県では、今年度「民間活力導入・規制緩和推進課」を新たに設置し、県民サービスの向上と地域社会の活性化のため、これまでに21の民間企業と包括連携協定を締結するなど、民間活力による事業創出を推進しています。このほかにも、若手職員が自主企画で例えば、民間企業の協力により、マルシェの企画・運営を行っています。

（質問23）

私は今大学2年で、来年インターンシップへの参加を考えていますが、民間企業も含めて何件参加されたか、また参加した際に注目した点があれば教えてください。

（回答23）

市役所のインターンシップに参加しました。普段見ることのできない職員の一日の仕事の流れに注目しました。また、職場の雰囲気を知ることでもでき、就職活動に役立ちました。

【1日目第3回(午後3時30分～)】石川県回答

（質問24）

入庁するうえで覚悟しておいた方がいいことはありますか。

（回答24）

パソコン（Excel, Word, PowerPoint等）を使用する業務が多くあります。パソコンに不慣れな場合、業務遂行に時間がかかります。入庁までにパソコンに慣れておいた方が作業が早く進むと思います。

（質問25）

それぞれの県における仕事で、特に魅力的な部分はございますか？

（回答25）

石川県の仕事で魅力的な仕事は数多くありますが、最近のものでは①R5年度末の北陸新幹線県内全線開業に向けて、PR活動の実施②R4年度に石川県で開催される国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」の気運醸成のための、本県ならではの文化資源を活かした多彩なイベントの実施などが挙げられます。

（質問26）

仕事は必ずしもいいことばかりではないと思いますが、何かストレスの解消法はありますか。

（回答26）

休日に家族とゆっくり過ごしたり、友人と食事に行くなどしてリフレッシュをするとよいかもかもしれません。また、読書やスポーツなど、自分の好きなこと・趣味に打ち込むことも効果的かと思います。

（質問27）

各県それぞれ魅力的だと思う特色があれば教えてください。

（回答27）

石川県は豊かな自然環境や観光資源を有しており、伝統と創造の文化集積地域です。また、北陸新幹線の開業、金沢港の整備、のと里山空港・小松空港の2つの空港の存在など、陸海空の交流基盤が整備されています。

（質問28）
試験をどのように乗り越えられましたか。

（回答28）
一生懸命に試験勉強に取り組みつつも、休憩時間や昼食の時は試験勉強のことをいったん忘れて会話を楽しむことで試験を乗り越えました。
また、学校の図書館で勉強していましたが、やる気がなくなってきたら、公務員を目指している友人たちの勉強している姿を見に行き、モチベーションを保っていました。

（質問29）
一度配属された部署にもう一度配属されることはありますか。

（回答29）
一度配属された場所に再度配属される場合もあります。
例えば、
①再度同じ課に配属されたが、以前とは違う業務を担当する場合や
②以前所属していた役職から昇任して、課長や係長として戻ってくる場合です。

（質問30）
公務員試験のほうが民間試験より合否が遅いと思いますが、就職活動をしていく上で、就職できるかどうか不安になったときはありますか。また、不安になったときはどのように乗り越えていましたか。

（回答30）
不安になったことはありました。
そのときは、「なぜ自分は石川県庁の職員を目指しているのか」ということを考え、自分の本当にやりたいことを見つめ直しました。そうすることで、自分が向かうべき方向が明確となり、不安に負けない、強い気持ちを保つことができると思います。

【2日目第1回(午前10時～)】岐阜県回答

（質問31）
建設課と建築課の業務内容の違いを教えてください。

（回答31）
岐阜県においては、建設課にあたる部局は県土整備部で、主に安全で暮らしやすい県土を創造するために道路や橋、河川やダム、都市開発や下水・公園などの基盤施設の新設（計画、設計、施工監理）や維持管理の業務を行っており、建築にあたる部局は、都市建築部で、主に安全な建物・住みよいまちづくりのための建築・宅地開発規制、県有施設の企画・設計・工事監理、住宅に関する企画や公営住宅の建設指導等の業務に携わります。

（質問32）
各県の誇りと感じておられること（県自体について、県職員として）について教えてください。

（回答32）
東西南北に広い県土（全国7位）に多様で豊かな自然、産業、文化が存在しており、それらを守り、育てていくことに誇りを感じます。

（質問33）
リモートワークなどコロナ禍で変わったことがあれば教えてください。

（回答33）
積極的にテレワーク、リモート会議を取り入れるようになったことで、柔軟な働き方ができるようになり、業務の効率化が進みました。

（質問34）
現在、各県が力を入れている事業や、課題としていることについてございましたら教えてください。

（回答34）
岐阜県では、アフターコロナに向け、DXの推進、持続可能な社会づくり等、岐阜県をより良くする取り組みをしています。
詳しくは、令和4年度当初予算概要を参照ください。
<リンク先>
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/286348.pdf>

（質問35）
毎月の平均残業時間を教えてください。

（回答35）
令和3年度実績では17.4時間/月になります。

（質問36）
働くうえで役に立つ資格はありますか。また私は社会教育主事の資格を取得する予定ですが何かに役立ちますか？

（回答36）
岐阜県には、様々な分野の業務があり、どのような資格であっても活用できる場所があります。社会教育主事の資格者は、県庁教育委員会や各地域の教育事務所等での教育行政事務を行う上で役立つと考えます。

（質問37）

県庁の職員の方のお仕事が非常に充実していることを感じました。一方で、仕事以外のプライベートの面を充実させることができるのか教えていただきたいです。

（回答37）

岐阜県では、年間20日間の年次休暇、その他にも特別休暇（結婚、出産、夏季、ボランティアなど）があり、休暇取得を組織として後押ししていますので、プライベートを充実させることができます。

（質問38）

各課に配属される際に、その課に配属される理由などを聞くことなどはできるのでしょうか？

（回答38）

上司に聞くことができます。なお、配属希望を上司に伝えておくことができます。

【2日目第2回(午後1時～)】愛知県回答

（質問39）

配属先の希望はどの程度受け入れられるのでしょうか？

（回答39）

配属先は、希望内容の他、本人の特性や能力なども考慮して決定されますので、本人の希望通りにならないこともあります。なお、愛知県庁には、選考に合格すれば希望する配属先に異動が可能となる「やりたい仕事挑戦制度」「極めたい分野挑戦制度」もあります。

（質問40）

人事異動の頻度はどのくらいでしょうか。国家公務員だと4年程度で異動になるときいたことがあります。県庁だと平均してどの程度になるのか気になります。

（回答40）

愛知県庁では、入庁後7年間はジョブローテーションという制度により、①複数の局②本庁③3か所の所属を経験することになります。ジョブローテーション後も人事異動は、平均して3～4年程度で行われます。

（質問41）

自己紹介の際に部分休業の制度利用のお話がありました。他の自治体でも、利用しやすい形でそのような制度は取り入れられていますでしょうか？

（回答41）

愛知県庁においても、小学校就学前の子を養育する職員が取得できる部分休業や、育児短時間勤務の制度があり、多くの職員が取得しています。

（質問42）

所属によって仕事内容や繁忙期等も異なると思いますが、特に特殊だったと感じる部署はありましたでしょうか？

（回答42）

議会事務局の仕事を挙げます。議会事務局の仕事は、本会議運営・委員会活動をはじめ、二元代表制の一翼を担う議会のあらゆる活動に「議会の立場」から携わることができる他にはない業務であり、議会事務局でしか得られない貴重な経験を得ることができます。

（質問43）

公務員として活躍するには、コミュニケーションを取れることや周りを見れるようになることが重要だと仰っていましたが、これらの能力を高めるために在学中に経験しておくことの良いことがありましたら教えていただけますと幸いです。

（回答43）

そういった能力は、ゼミ活動やアルバイト、ボランティア活動など大学生活の様々な場面で育むことができます。また、普段自分が目を向けていない分野に目を向けてみるのもよいでしょう。

【2日目第3回(午後3時30分～)】三重県回答

（質問44）

法改正の情報はどのように集めていらっしゃいますでしょうか？

（回答44）

業務に関係する法改正の情報については、国の機関（人事委員会事務局の場合は総務省や人事院等）から都道府県あてにメールや文書にて通知されます。また、大きな改正になると、こちらの業務に大きく関係するため、事前に国が都道府県の担当者向けに説明会を開催することもあります。しかし、社会情勢は変化していくため、日々アンテナを高くして、新聞やインターネットなどで情報収集を行っています。

（質問45）

ジョブローテーションの期間内で、国の機関や他県の事務所に異動することはありますか？

（回答45）

ジョブローテーションのなかで、職員全員が国の機関や他県の事務所に異動するわけではありません。異動しない職員の方が相対的に多いです。なお、異動する頻度、タイミングは職員によって異なりますが、早い職員だと、2ヶ所目の配属先にて、国の機関や他県の事務所等に異動することもあります。

（質問46）

毎年度新規事業に取り組むなど、新しい分野に挑戦することが多いと説明されていましたが、そのような職務を行うにあたって、どのようなことを心掛けていますか？

（回答46）

1人で事業を進めていくわけではなく、チームで進めていくことから、課内の職員の意見を聞いて、進めるように心掛けています。また、その事業が県民、民間企業、関係団体などに影響が及ぶ際には、様々な意見を集約し、調整を図りながら、事業が円滑かつ効果的に遂行できるよう心掛けています。

（質問47）

民間企業の活動と毛色が似ている分野でのお仕事について、「県庁職員としてしかできないこと」の具体例をお伺いしたいです。

（回答47）

例えば、観光に関する分野において、観光地のホテルや飲食店等の民間事業者は、県内外または世界から多くの観光客が訪れ、滞在先で消費してもらい、企業体として持続的に成長していけることを考えています。

一方、県の果たすべき役割としては、県全体の魅力を発信して観光誘客を進めることで、県の観光産業が持続的に成長していけるような環境を整えることです。そのために、県の認知度をさらに高め、観光地として選ばれ続けるために、旅行者データに基づく観光マーケティングの推進、県の強みを生かした戦略的な観光プロモーション、旅行者が快適かつ便利に滞在できるための環境整備などを、県が主体となり推進していく必要があります。

（質問48）

進学先の学校の場所と、行きたい県庁の場所が異なり、就職課に行っても、インターンに関する情報が集まりにくい状態にあります。インターネット以外でどうやってその県庁に関する情報を集めていたか、教えていただくと幸いです。

（回答48）

ご指摘のとおり、行きたい県庁とは異なる進学先の学校の就職課では、他県の情報を入手することが困難であると思われます。また、デジタル環境やインターネット環境が大きく普及してきた今日では、各自治体においても、インターンや説明会等の情報をホームページやSNS等で発信することが多くなっていますので、ホームページ等で情報収集していただくのが一番効果的だと思います。

他にも、直接インターンを所轄する部署に連絡して、「インターンはどういった実施方法になるのか」、「何月くらいに告知されるのか」などを聞いていただくと、リアルタイムで情報収集することができます。

<ブレイクアウトセッション>

【福井県回答】

（質問49）

原子力の余剰電力を活用して水素を製造するというニュースを見た。他に、「水素」「脱炭素」関係の政策はどのようなものがあるか教えてほしい。

（回答49）

脱炭素・カーボンニュートラルに関する県の取組については、「福井県カーボンニュートラルポータルサイト」をご覧ください。
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/carbon_neutral.html

（質問50）

福井県職員の採用予定人数はどうなるのか。

（回答50）

次年度の福井県職員採用試験における採用予定人数は、例年4月末に人事委員会事務局ホームページで公表していますので、ホームページをご覧ください。<http://info.pref.fukui.jp/jinji-i/>